

2026 年度 6 月特別講演会レジュメ

日 時：2026 年 6 月 26 日（金）18:00～20:00

場 所：オンライン会議形式 + 機械振興会館 2 階 211 会議室

講 師：伴 信彦氏（前原子力規制委員会委員長代理）

題 目：「原子力安全文化と放射線防護に関する国際的議論」

司 会：森 浩一 幹事

報告者：住川 隆 幹事

参加者：57 名（会場 14 名、Web 43 名）

講演概要：

講演者は、原子力安全文化および放射線防護という 2 つの分野で、国際的な議論に参加してきた。その経験に基づき、それぞれの分野における最近の議論の動向を紹介する。安全文化については、従来は個々の原子力事業者の組織内文化に焦点が当てられてきたが、近年はこのテーマを幅広に捉え、異なる組織が互いに影響を及ぼしあう中で、どのように継続的改善を実現するかが問われるようになっている。講演では、事業者と規制機関の関係性に着目した経済協力開発機構／原子力機関（OECD/NEA）の報告書を踏まえて、原子力の安全規制のあり方に関する議論を概説する。放射線防護については、放射線被ばくによるヒトの健康影響に特化したアプローチでは現代社会の要請に応えきれないことから、被ばくの影響と防護の意義を多面的に捉える努力が続けられている。そのような流れの中で、国際放射線防護委員会（ICRP）の基本勧告改訂に向けた議論がどのように進められているかを説明する。